

経営方針「パズル」で表現

デザイントラック3台導入

萬運輸

【神奈川】萬運輸（東海林憲彦社長、横浜市鶴見区）は4月から、ジグソーパズルをモチーフにしたデザイントラックを3台導入している。

このうち、本社所属のデザイントラックは、冷凍食

品・冷凍の配送を行っている大型車。アイスクリームを描いた子供の絵とパズルを組み合わせた両面のデザインが目を引く。

同社の自動車整備部門ヨロズモーターズが保有する、オートボディープリン

返る記念映像も上映。パズクミュージックの一部は野村氏がギターで演奏したことを紹介した。

祝賀会では、乾杯のあいさつを人間市商工会の齋藤正明会長が、大締めを埼玉県議会議員の杉島理一郎氏が、それぞれ務めた。



ターでプリントした。ジグソーパズルのデザイン

ンについて、東海林社長は「当社の経営方針の象徴的なイメージを表したもので、今後このデザイントラックを順次増やしていく。また、ホームペ

ージなどでもパズルデザインを使用する計画。パズルが具体的に何を意味するかは、今後明らかにするだろう」と話している。

（吉田英行）

デザイントラックの前に立つ東海林社長（左）、プリントを担当したヨロズモーターズの野崎健司氏